

大阪大谷大学文学部歴史文化学科 特任教授

さ がわ しん いち
狭川 真一さん



奈良市の出身ですが、縁あって1983年4月から1999年3月まで太宰府市役所に文化財の専門職員として勤務し、市内各所の発掘調査を担当しました。大きな発見は大宰府の朱雀大路を初めて確認したこと。さらに大宰府条坊跡を数多く調査し、遺跡からみた古代都市復原の第一歩を刻めたことは大きな成果となりました。その後は佐野地区土地区画整理事業に伴う発掘調査を主に担当し、94年頃からは太宰府市文化ふれあい館の設計に関する文化財サイドの担当者に指名され、市民も職員も使いやすい文化施設になるよう議論し、工夫したことを思い出します。今はこれらの経験を活かして、大学で考古学や博物館学を教えています。

16年間の在籍中、大事な仕事をいくつも任せていただき、社会人として大きく成長することができたのは、一緒に仕事をしてくださった多くの方々のおかげであり感謝しかありません。太宰府市は私にとって、時間も距離も超越した大事なだいな故郷です。

特集

令和7年度当初予算 … 2～7

- ・主な事業を紹介します
- ・数字で財政面からお知らせします

認可保育園・認定こども園
合同就職説明会 …… 11

市からのお知らせ …… 12～14

連載 …… 15～24

なんでも情報コーナー
…… 25～31

太宰府の文化財 …… 32

※掲載記事は編集作業の都合上4月15日時点までの情報に基づきます。配布時とのずれなどございましたらご了承ください。

市政ニュース

人材育成・登用 年度末・年度始め行事を行いました

太宰府市として節目ごとの心合わせを大切にするべく、本市の退職者辞令交付式を3月31日(月)、新規採用・人事交流・異動職員への辞令交付式を4月1日(火)に行いました。

楠田市長は、年度末には退職職員へ心からの労いを伝え、年度始めには出席した職員に向けて心機一転し市の為市民の為に持ちうる力を出し尽くす心構えを共有しました。



宣誓を述べる新規採用職員

危機管理の徹底強化 楠田市長、筑紫野警察署長とトップ会談

新年度の始まりを機に本市の楠田市長が野田賢秀筑紫野警察署長とトップ会談を行いました。

最近でもキャンプ場無許可開発の件や闇バイト対策、交通事故対策など懸案が数多くあり、警察との緊密な連携で一つずつ対応に努めて来ました。今後も市の為市民の為にさまざまなレベルで警察との連携を確かなものにして、安心安全に暮らせるまちづくりの実現に取り組みます。



握手する両者